



ビバ!チャップリン
VIVA! CHAPLIN

＜ピノク/チャップリン＞最新作
第一回アカデミー特別賞受賞

CHARLES CHAPLIN in
THE CIRCUS

笑いも涙もすばらしい!
チャップリンの
至芸で見せる
愛と哀しみの世界!

チャップリンの サーカス

製作・脚本・監督・音楽・主演・チャールズ・チャップリン

マーナ・ケネディ/ハリー・クロッカー/アラン・ガルシア/撮影・ロリー・トザロー/東宝東和提供・アメリカ映画



●チャップリンの至芸で見せる笑いと涙

「サーカス」という世界は、さまざまなイメージをいだかせる。人間の夢や野心や希望、人生の哀しみや歓び。いわば、人生の縮図ともいったものがすべておりこまれておられるようであり、それが人々の心に「サーカス」への果てしない郷愁をかきたてるのだろう。役者にとつても、サーカスの世界、ことに道化の役は最も魅力的で重要な対象のひとつだ。天才チャップリンが全身をうちこんでこれに挑んだのは、当然すぎるともいえるだろう。「チャップリンの黄金狂時代」を撮り終えた彼は、一九二六年一月から二年の歳月を費して「サーカス」を作った。舞台のバントマイム役者としてスタートをきったチャップリンの、総決算ともいえるべき全力投球だった。油ののりきった芸による完璧なドラマの世界が、このなかに結晶されたのである。絶品ともいえる芝居によって、腹の皮のよじれるほど笑わせ、最後にホロリとさせる、チャップリン映画の典型的傑作がここに生まれた。

●おなじみの浮浪者がサーカスへ

相変わらず職なし宿なしの浮浪者チャップリンの優雅な散策からお話は始まる。と、見世物小屋が立ちならぶ界隈に来た時、スリ騒動に巻き込まれ、警官に追われる破目におちいった。追いつ追われつのおかげで逃げこんだのがサーカスのテント。なかでは、役者たちの退屈な演技に頭にきた客がブービー騒いでいた最中。そこへ、突然へんな男と警官がとびこんできて、珍妙なるドタバタ騒ぎをやりはじめたものだから、このハプニングに客は大喜びだ。

この光景を見たサーカスの座長は、「よし、この男を使ってみるか」と思った。ところが、いざテストをやってみるとまったくの不器用で、自分ではなにひとつ芸ができないどころか、人のやるのを見てゲラゲラ笑ってばかりいる。これでは使いものにならない。狡猾な座長はその場で採用拒否した。ところが折しも起ったのが、道具係の連中の給料のいざこざからの辞職騒ぎ。やむなく座長は、チャップリンを道具係にしたが、これがまた思いがけない意識せざる効果を生んだ。手品の台を運べば、押してはならないボタンを押して、鳩やら猫やらをどんどんとびださせるし、やることなすことドジばかり。それが客の大喝采をあびることになったのだ。

●あの娘のためなら命も捨てて……

チャップリンがサーカスにとどまることにしたことの大きな魅力は、曲馬乗りの娘マ



THE CIRCUS



＜ピバノチャップリン＞最新作



製作・脚本・監督・音楽・主演
チャールズ・チャップリン

東宝東和提供・アメリカ映画



チャップリンの サーカス

ーナだ。座長の継娘で、いつも眼の仇のように座長にいじめられていた可愛いけなげな娘。この娘をなんとか幸せにしてやりたい。それがチャップリンの想いだ。優しく慰めの言葉をかけてやったり、芸がまずいと怒られて食事をあたえられないうち自分の分をわけてやったり。いつしか同情は恋にかわり、ああ、チャップリンの想いはつるばかりだ。

そんなある日、チャップリンの想いを打ち砕くような男がサーカスへやってきた。レックス——まったく憎い奴だった。若い、ハンサムだ、背が高い、おまけに、サーカスでは一番の花形である綱渡りの名人ときている。チャップリンの心はおだやかでない。そして、これが、ことを意外な方へ運び、チャップリンの命を賭けた「大挑戦」へとかりたてることになるのである。

●抱腹絶倒ノ息をのむ綱渡りシーン

ラスト近く、なにもできないことによつて客を笑わせてきたチャップリンが、恋するマーナのために、こともあろうに綱渡りに挑む。このシーンの笑いと、手に汗にぎる迫力は映画史に残るものと評判だ。腰につけていた安全ベルトが吹つとび、まさに命綱の上での悪戦苦闘。おまけに猿たちが押しかけ、チャップリンの鼻をかじる、口に尻尾を突っこむ、ズボンをはきずりおろす。チャップリン必死の形相は真に迫つたものだ。スタント・マンなしにすべて自分で演じた、命をはつた演技といえるだろう。おかげで、猿に咬まれた傷が六週間も治らず手当に通つたという。

このほか、ライオンの檻の中のシーン。子供のハンバーガーを盗み食いつけるシーン（ここだけに四週間かけた）、魔法の鏡の部屋のシーンなど、チャップリンならではの傑作場面がいっぱい。

●精神的ショックのなかでの傑作誕生

この映画のために、チャップリンは本物のサーカスを一年間丸抱えにするほどの意気込みだったが、私生活では悲惨のどん底。妻リタ・グレイとの離婚騒ぎで、邸宅と撮影所を差し押えられ、「サーカス」のネタをもつてニューヨークへ逃げたが、強度の神経衰弱におちいついてたという。結局、百万ドルという莫大な慰謝料でケリがついたが、こんな状態が映画にしみじみとした哀調を滲みださせたといえそう。

マーナを演じるのは、この映画のためにチャップリンが発見した18才のマーナ・ケネディ。可憐な美少女だ。